

## 福井県大野市で2006年にエルタテハを確認

和田 茂樹\*

A record of *Nymphalis l-album* (Esper, 1781) from Ono City, Fukui Prefecture in 2006

Shigeki WADA\*

(要旨) 2006年8月3日に福井県大野市の赤兎山南麓においてエルタテハ1♂を撮影した。

キーワード：エルタテハ, 赤兎山, 福井県

エルタテハ *Nymphalis l-album* (Esper, 1781) は、国内では北海道、本州の東北から中部地方にかけて分布し、滋賀県の伊吹山を分布西限とする(白水, 2006)。本州では主に標高1,000m以上の落葉広葉樹林に生息し、もともと個体数の少ないチョウであるが、植林により良好な自然林が失われ、減少している(日本チョウ類保全協会, 2019)。

福井県内では大野市上小池における1964年の1♀の採集記録が本種の確実な記録としてあるのみで、近年の報告はなかった(木村, 2014)が、梅村・伊藤(2022)は、2014年に白山山塊の南西に位置する大野市赤兎山(赤池付近)において1♂を採集したことを報告した。筆者も2006年に赤兎山南麓において本種を確認しているので報告する。

本稿の執筆にあたり、福井県内における本種の確認状況についてご教示くださった福井市自然史博物館の梅村信哉氏に御礼申し上げます。

エルタテハ *Nymphalis l-album* (Esper, 1781)

福井県大野市赤兎山南麓(標高約1,190m), 1♂, 3-VIII-2006, 和田茂樹撮影(図1)

筆者は2006年8月3日、大野市赤兎山(標高1,629m)の登頂を目指したが、同年7月下旬より同山の一般的な登山ルートの入口にあたる勝山市の小原林道が土砂崩れのため通行不能となっていたため、大野市上打波の鳩ヶ湯付近からの登山ルート(通称鳩ヶ湯コース)を辿ることとした。

本種を確認した場所は、たんどう谷沿いの林道を登り、谷を渡り、やや長い急登を登り切ったところにある標高約1,190mの平坦部(図2)で、登山コースは、この平坦部を通過して尾根筋に駆け上がる急登へとつながっている。平坦部には高木がまばらで灌木や雑草が茂るやや開けた空間がある。筆者は、同日午前10時



図1. エルタテハ♂  
(大野市赤兎山南麓, 3-VIII-2006, 和田茂樹撮影)



図2. エルタテハの撮影地  
(赤点, 国土地理院2万5千分の1地形図「願教寺山」を使用)

10分、ここに飛来した本種1♂を発見し、倒木に静止したところを数メートル離れた草葉の隙間から2回写真撮影した。さらに近づこうとしたところで本個体は飛び去ったため、それ以上の観察や採集は行えなかった。写真で見ると、目立った破損のない新鮮な個体である。

\*福井市自然史博物館友の会 〒918-8006 福井市足羽上町147

\*Friends Membership of Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan

本種は、隣接する岐阜県では飛騨地方の標高1,000mを超える地域などから多くの記録があり、西濃地方の揖斐川町からも複数の記録がある（高田・水谷, 2013）が、滋賀県からは伊吹山で1954年の1♀の採集記録があるのみである（滋賀県チョウ類分布研究会, 2011）。石川県では記録が少なく、白山周辺で稀に記録されるとされていた（松井, 1998）が、同県では70年代が1例、80年代が3例、90年代が9例、2000年代が7例、2011年から2014年が28例（2014年だけで20例）と近年観察例が増加しており、既知の観察地から外れた標高1,000m以下でも複数例が観察されているという（松井, 2016）。赤兎山周辺における今回の2006年の記録や、梅村・伊藤（2022）による2014年の記録は、このような石川県側での観察例の増加と関連する可能性もある。他方、赤兎山の東方約8kmに位置し、より標高の高い三ノ峰（1,671~2,095m）では、2016年以降継続してチョウ類群集の調査が行われているものの、本種は確認されていないという（梅村, 2017；梅村, 2018；梅村・伊藤, 2022）。わずか2例とはいえ、赤兎山の福井県側で本種の発見が相次いだことから、今後、同山周辺における調査で本種が追加記録される可能性もあると考えられる。

## 引用文献

- 木村富至, 2014, 福井県産蝶類の話題種と分布考察. Butterflies (S.fujisanus), (64), 4-12.
- 松井正人, 2016, 石川県におけるチョウの分布拡大. 井上大成・石井実（編）チョウの分布拡大. 北隆館, 231-242.
- 松井正人, 2016, LEPIDOPTERAチョウ目蝶類. 石川むしの会・百万石蝶談会（編）石川県の昆虫. 石川県環境安全部自然保護課, 342-365.
- 日本チョウ類保全協会（編）, 2019, フィールドガイド 増補改訂版 日本のチョウ. 343p. 誠文堂新光社, 東京.
- 滋賀県チョウ類分布研究会（編）, 2011, 滋賀県のチョウ類の分布. 194p. 琵琶湖博物館研究調査報告27号.
- 白水隆, 2006, 日本産蝶類標準図鑑. 336p. 学習研究社, 東京.
- 高田清・水谷治雄, 2013, Lepidopteraチョウ目 Rhopalocera蝶類. 岐阜県昆虫分布研究会（編）岐阜県昆虫目録 I. 岐阜県昆虫分布研究会, 300-544.
- 梅村信哉, 2017, 三ノ峰におけるチョウ類群集の多様性と季節変動. Ciconia, 20, 1-10.
- 梅村信哉, 2018, 三ノ峰におけるチョウ類群集の多様性（2017年の記録）. Ciconia, 21, 13-22.
- 梅村信哉・伊藤勝幸, 2022, 大野市赤兎山におけるエルタテハ *Nymphalis l-album* (Esper)の採集記録. Ciconia, 25, 79-80.

## A record of *Nymphalis l-album* (Esper, 1781) from Ono City, Fukui Prefecture in 2006

Shigeki WADA

### Abstract

A male of *Nymphalis l-album* (Esper, 1781) was photographed at the southern side of Mt. Akasagi, Ono City, Fukui Prefecture on August 3th, 2006.

### Key words

*Nymphalis l-album*, Mt. Akasagi, Fukui Prefecture